

平成25年度当初予算 予算要求シート

整理番号	11 - 041	マスタープラン 3つの挑戦	-	マスタープラン 施策番号	1 - 2	局・課名	健康福祉局 高齢施策推進課
区分	その他一般施策						(単位 千円)

事業名	緊急通報システム(一般会計)	平成23年度決算額		平成24年度予算額		平成25年度要求額	
関連事業	緊急通報システム(介護保険事業特別会計)	事業費	49,585	全体事業費	50,265		26,693
事業目的	今年度要求のポイント 高齢化により設置件数は年々伸びてきており、そのことに伴う事業費の増加が必要。						
事業内容	主な要求内容 (単位：千円)						
高齢者宅に緊急通報装置を設置し、緊急ボタン（消防が通報先）や相談ボタン（委託業者が通報先）を押した際に、迅速かつ適切な対応を行う。 （対象者） ① おおむね65歳以上の病弱等の一人暮らし高齢者、又は高齢者のみの世帯の方。 ② 昼間または夜間に独居（同居家族が就労・就学等のために日中または夜間の大半において不在）となるおおむね65歳以上の病弱等高齢者。 ※利用にあたっては、2名の近隣協力員を登録する必要があるが、協力員がいない場合は、委託業者が自宅の鍵を預かることにより、協力員の役割を担う。 （委託内容） 装置の保守（取り付け、メンテナンス、取り外し）、24時間365日の健康相談、緊急時の警備員の出勤等。	項目	24年度予算	25年度要求額	内容・積算等			
	保守管理業務委託	34,268	10,279	保守管理業務等委託料			
	備品購入費	15,465	15,901	緊急通報装置の購入費			
	その他	532	513				
	合計	50,265	26,693	緊急通報システム(介護保険事業特別会計)で、委託料24,451千円要求。合計 51,144千円(25年度)			
スケジュール（経過及び今後展開）					その他 特記事項		
【経過(～24年度)】 平成22年度から、委託業者が協力者の役割を担う制度を開始		【25年度】 事業の継続実施		【今後(26年度～)】 事業の継続実施			